



2026年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月9日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社 上場取引所東
コード番号 8127 URL <https://www.yamatointr.co.jp/>
代表者 （役職名）取締役社長 （氏名）盤若 智基
問合せ先責任者 （役職名）常務執行役員IR経営企画室長 （氏名）保田 大輔 TEL 03-5493-5629
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年8月期第1四半期の連結業績（2025年9月1日～2025年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年8月期第1四半期	4,954	0.3	120	9.8	145	16.0	97	8.9
2025年8月期第1四半期	4,938	△7.6	110	△59.2	125	△55.5	89	△59.9

（注）包括利益 2026年8月期第1四半期 616百万円（244.1％） 2025年8月期第1四半期 179百万円（△45.3％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第1四半期	4.74	—
2025年8月期第1四半期	4.34	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年8月期第1四半期	25,205	17,726	70.3	865.88
2025年8月期	23,301	17,314	74.3	845.76

（参考）自己資本 2026年8月期第1四半期 17,726百万円 2025年8月期 17,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	6.00	—	10.00	16.00
2026年8月期	—	—	—	—	—
2026年8月期（予想）	—	6.00	—	8.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	10,700	1.5	85	118.6	130	26.1	90	19.9	4.40
通期	20,500	5.4	180	—	270	—	200	39.7	9.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期1Q	21,302,936株	2025年8月期	21,302,936株
② 期末自己株式数	2026年8月期1Q	831,052株	2025年8月期	830,944株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年8月期1Q	20,471,924株	2025年8月期1Q	20,544,910株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や円安を背景とする物価高、金利・賃金の上昇等にみられるとおり、インフレ社会が到来し時代の転換期を迎えております。更には、地政学リスクの長期化や米国を中心とする経済政策の動向等、国際情勢や金融市場はますます複雑化し、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、所得環境の改善やインバウンド需要の拡大に支えられ、個人消費の持ち直しの動きが一部に見られましたが、物価上昇によるお客様の生活防衛意識の高まりや常態化する猛暑・残暑等、気候変動による衣料品全般に対する購買動機とその機会の変容が懸念されます。

このような経営環境の中、当社グループは「ものを創り 人を創り お客様と共に心豊かな毎日を創る」という不変のミッションのもと、人々のライフスタイルや価値観が様変わりする中で、いつの時代でも どのような環境下でも、お客様の不満や問題を解決し 求められるものを提供し 最初に想起される真のブランド「シン・ブランド創り」を目指しております。

これらを背景に始動した中期ビジョン「Yamato 2026」では10年後を視野に、既顧客の活性化を大前提としながらも、次の世代の潜在顧客獲得に より比重を置いた戦略を実践してまいります。そして、10年後のあるべき姿として、次の世代のお客様が当社のブランドを認知認識し、私たち創り手の意図を理解し、詳細な特徴を語り他者へ共有できる、更にはお客様同士も共鳴できる状態。お客様も社員も誇れる真のブランドになっている姿を目指してまいります。

基幹事業である「クロコダイル」は、「“大人のTPO”をスマートに演出するブランド」をコンセプトに、改めて原点である顧客起点に立ち返り、既顧客の満足度向上と活性化に繋がる商品の強みや付加価値を戦略的に構築してまいります。

潜在顧客の獲得に向けましては、クロコダイルグループにおける先進的な役割を担う2つの「ストラテジックライン」である「クロコダイル コード」と「スイッチモーション クロコダイル」が順調に成長しており、引き続き売場面積の拡張を目指し、事業規模の拡大を図り「粗利額と率」の伸長に努めてまいります。

また今期は、当社を取り巻く環境の急激な変化に対応するべく、戦略的な価格とそれを実現するための供給体制の構築を推し進めることで、インフレ禍であってもお客様がお求めやすく選びやすい商品構成を整えてまいります。

更に商品、店舗、コミュニケーション等すべてにおいて一貫性を保ち提供することで、お客様のブランドに対する認知認識を深め顧客を獲得し、事業の持続的な成長を目指してまいります。

「創造的な移動を続ける都市生活者のための機能服」をコンセプトに、オンラインショップをベースに展開する「CITERA（シテラ）」は、常に快適で洗練された時代に響くスタイルや商品開発等に注力してまいります。また、米国発アウトドアファッションブランド「Penfield（ペンフィールド）」と、ハワイ発カジュアルサーフブランド「Lightning Bolt（ライティングボルト）」は、ブランド認知度と価値向上に注力し、ライセンス事業の更なる拡大を目指してまいります。

一方、当社グループの物流業務を請け負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社では、EC事業の成長に伴い小口配送の件数が年々増加しております。近年導入を進めてきた自動ソーター、自動製封函機、及びカメラ認証システムも活用し、物流業務の変化にも対応しております。今後も、積極的な投資による業務の自動化、省人化を推進することで、更なる生産性向上を図ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高が49億5千4百万円（前年同期比0.3%増）となりました。利益面では、売上総利益率は59.1%（前年同期比1.3ポイント減）となり、販売費及び一般管理費については28億9百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は1億2千万円（前年同期比9.8%増）、経常利益は1億4千5百万円（前年同期比16.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9千7百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業48億8千5百万円（前年同期比0.4%増）、不動産賃貸事業6千8百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は114億2千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ11億1千6百万円増加いたしました。主な要因は、商品及び製品が13億6千5百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が8億8千8百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。なお、現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金は63億8千万円から10億1千2百万円減少し53億6千7百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は137億8千万円となり、前連結会計年度末と比べ7億8千8百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産が4千1百万円、投資有価証券が7億3千8百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は252億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億4百万円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は58億6千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ13億2百万円増加いたしました。主な要因は、電子記録債務が10億8千3百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は16億1千3百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億8千9百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金が4千5百万円減少し、繰延税金負債が2億3千8百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は74億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億9千2百万円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は177億2千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億1千1百万円増加いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が5億5百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は70.3%（前連結会計年度末は74.3%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年10月10日の「2025年8月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,880,363	3,567,438
受取手形、売掛金及び契約資産	1,187,424	2,076,259
有価証券	1,499,771	1,800,000
商品及び製品	2,372,972	3,738,423
仕掛品	97,127	97,517
その他	271,060	145,709
流動資産合計	10,308,720	11,425,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,385,178	1,433,077
機械装置及び運搬具（純額）	80,785	77,158
土地	5,179,068	5,179,068
リース資産（純額）	15,007	12,261
その他（純額）	39,334	39,676
有形固定資産合計	6,699,373	6,741,243
無形固定資産	4,891	3,879
投資その他の資産		
投資有価証券	5,902,647	6,641,260
差入保証金	109,523	109,562
退職給付に係る資産	195,461	200,052
繰延税金資産	1,186	2,616
その他	107,000	109,471
貸倒引当金	△27,671	△27,671
投資その他の資産合計	6,288,147	7,035,291
固定資産合計	12,992,413	13,780,413
資産合計	23,301,133	25,205,760

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	625,351	786,327
電子記録債務	2,830,289	3,913,322
1年内返済予定の長期借入金	230,572	230,572
未払法人税等	68,490	62,283
賞与引当金	69,324	—
その他	739,110	873,554
流動負債合計	4,563,137	5,866,060
固定負債		
長期借入金	585,745	540,602
資産除去債務	78,885	78,970
繰延税金負債	562,221	800,360
その他	196,702	193,532
固定負債合計	1,423,554	1,613,464
負債合計	5,986,692	7,479,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	4,988,692	4,988,692
利益剰余金	6,336,023	6,228,413
自己株式	△394,903	△394,958
株主資本合計	15,847,465	15,739,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,489,377	1,994,721
繰延ヘッジ損益	△964	12,011
退職給付に係る調整累計額	△21,437	△20,297
その他の包括利益累計額合計	1,466,976	1,986,435
純資産合計	17,314,441	17,726,235
負債純資産合計	23,301,133	25,205,760

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年9月1日 至 2024年11月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年9月1日 至 2025年11月30日）
売上高	4,938,779	4,954,810
売上原価	1,954,004	2,024,517
売上総利益	2,984,775	2,930,293
販売費及び一般管理費	2,874,751	2,809,456
営業利益	110,023	120,836
営業外収益		
受取利息	8,135	10,841
受取配当金	4,112	4,231
為替差益	1,643	6,644
その他	4,347	5,935
営業外収益合計	18,238	27,653
営業外費用		
支払利息	1,800	2,304
その他	686	336
営業外費用合計	2,487	2,640
経常利益	125,775	145,848
特別損失		
固定資産除却損	148	4,786
特別損失合計	148	4,786
税金等調整前四半期純利益	125,627	141,061
法人税、住民税及び事業税	35,666	45,507
法人税等調整額	764	△1,555
法人税等合計	36,430	43,952
四半期純利益	89,196	97,109
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	89,196	97,109

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	89,196	97,109
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83,473	505,343
繰延ヘッジ損益	6,332	12,975
退職給付に係る調整額	177	1,140
その他の包括利益合計	89,984	519,459
四半期包括利益	179,180	616,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,180	616,568
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維製品製造 販売業	不動産賃貸 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,868,038	70,741	4,938,779	—	4,938,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,868,038	70,741	4,938,779	—	4,938,779
セグメント利益	254,448	37,979	292,428	△182,404	110,023

(注) 1. セグメント利益の調整額△182,404千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維製品製造 販売業	不動産賃貸 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,885,817	68,993	4,954,810	—	4,954,810
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,885,817	68,993	4,954,810	—	4,954,810
セグメント利益	272,597	24,880	297,477	△176,641	120,836

(注) 1. セグメント利益の調整額△176,641千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	42,900千円	36,479千円